



個別事情に応じた納付相談を
物価・燃油、電気料金の高騰
などで家計が逼迫する中、国民
健康保険料の滞納が減少してい
ます。その一方で徴収が強化さ
れ生活に困る方もいます。納付
相談できないまま差し押さえら
れる例も示し、対応の改善を求
めました。

国保料は引き下げよ

真下紀子議員は、3月7日の保健福祉委員会で国民健康
保険料の軽減などを求めて、質問しました。

道は「個別世帯の実情に応じ
た納付相談を行うなど、適切に
対応するよう市町村に対し助言
していく」と答えました。

国保料負担の軽減を

2023年度の市町村から道
への国保料納付金は、1・4%
増加する見通しです。保険料が
上がらないように、いくつかもの
市町村は一般会計から繰り入れ
ています。生活を圧迫する国保
料、道も一般会計から繰り入れ
るなど、被保険者の負担を軽減
する必要があります。

子どもの均等割 減免拡げて

旭川市をはじめ7つ市町村が

私学幼稚園パワハラ相談 行政動かす 道「通知発出、指導検査で実施状況を確認」



パワハラ防止法が改正され、
私立学校にもパワハラ防止措置
が義務付けられたのは2020
年6月からです。これまで総務
部学事課は、「パワハラ防止法
改正の内容や指針、留意点な
ど、事業主が講ずべき雇用管理
上の措置、職場での周知・啓
発、相談窓口の周知をしてい
る」と答えました。しかし「指

真下紀子事務所に、私立幼稚園の職員が園長からパワハラを
受けたと相談があり、3日の予算特別委員会で、私立学校所管
の総務部に対し、パワハラ防止対策の強化を求めました。

パワハラ防止 通知と確認

導検査時に各幼稚園での措置状
況を把握していない」「研修も
実施していない」と答弁。

真下議員は、「私が受けた相
談では、学内のパワハラ相談窓
口やパワハラ委員会での対応も
されていない」と指摘し、相談
体制を把握しているのか問うと
道は相談体制の状況も「把握し
ていない」ことを認めました。
藤原俊之総務部長は「講ずべ
き措置が実施されるよう、改め
て通知等を発出。指導検査で実
施状況を確認、関係機関等とも
連携し、取組の促進を図る」と
明言。このほか、
私立の幼稚園、学
校、専門学校に通
知されました。



私立高校も校則見直しへ

真下議員が理不尽な校則の見
直しを求め、9割以上の道立高
校で見直しが始まり、ホーム
ページで公開されています。

私立高校の生徒から校則見直
しの要望を受けた真下議員は、
3日の予算特別委員会で質問。
藤原総務部長は「児童生徒自
身が主体的に参画しながら、絶
えず積極的に見直す必要があ
る」「国の通知や生徒指導提要
に加え、道立高校の取り組み状
況や、全国の先進的取組事例を
周知する」と答えました。



国の制度に上乗せして子どもの
均等割減額免除の対象者を拡げ
ています。旭川市も小学生から
高校生まで2、265人に減額
免除しています。さらに広げま
しょう！

国はペナルティやめて

子どもや重度障害者、ひとり
親世帯の医療費を市町村が助成
すると、国は、ペナルティのよ
うに道への給付金を減らしま
す。その金額は年に約9億円
余、3年間で合計28億7704
万円です。これだけの財源が減
らされなければ、国保料を引き
下げ、子どもの均等割軽減の拡
充などに使えます。ペナルティ
をやめるように求めた質問に
道は、全国知事会と連携して国
に要望すると答えるだけです。
これでは住民福祉増進の地方自
治体の役割を果たせません

